

令和7年度業務実績等報告書補足資料

No	病院	年度計画項目	ページ	項 目	R 7 実 績
1	精神	第1-1-(1)ハ 地域医療への貢献	P7	精神保健相談への医師派遣、会議への職員派遣に係る実績	・ 行政が実施している精神保健相談への医師派遣 ： 101回（7市町村） ・ 地域精神保健福祉活動に関係する会議への職員派遣 ： 15件
2	精神	第1-1-(1)ハ 地域医療への貢献	P7	紹介・逆紹介患者数	・ 紹介患者数：327人 ・ 逆紹介患者数：408人
3	がん	第1-1-(2)イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供	P15	科研費採択件数の内訳	【R7】 基盤B：2件 基盤C：11件 若手：2件 厚労科研：2件 研スタ：1件 【R6】 基盤B：5件 基盤C：17件 若手：2件 萌芽：1件 厚労科研：2件 【R5】 基盤B：5件 基盤C：20件 若手：2件 挑戦：1件 萌芽：1件 厚労科研：1件
4	がん	第1-1-(2)イ 政策医療、高度・専門医療の確実な提供	－	がん種別治療実績	別紙1
5	がん	第1-1-(2)ハ 地域医療への貢献	P17	紹介・逆紹介患者数	・ 紹介患者数：3,701人 ・ 逆紹介患者数：2,835人
6	がん	第1-1-(2)ハ 地域医療への貢献	P17	紹介医療機関及び逆紹介医療機関の地域性（県内の地域分布）	仙台市35%/名取・岩沼・亶理32%/仙南15%/県北4%/他県12.5% ※逆紹介医療機関のデータは集計していないが、原則として、元の医療機関に返すこととなるため、紹介医療機関の地域分布とほぼ乖離がないものと見込まれる。
7	がん	第1-1-(2)ニ 医療に関する調査・研究と情報の発信	P21	学会発表等実績の診療科別内訳	別紙2
8	精神 がん 機構	第1-2 安全・安心な医療の提供	P23 P25 P27 P29 P33	職員の研修受講率	【精神】 ・ 医療安全研修会：97.4% ・ 感染対策研修会：80.0% ・ 虐待防止研修会：83.5% 【がん】 ・ 医療安全研修会：87.9% ・ 感染対策研修会：83.2% 【機構全体】 ・ 情報セキュリティ研修・接遇研修（新任研修内で実施） ： 対象者21人中20人参加、受講率95% （参考） ・ 35歳を対象としたキャリアデザイン研修：15人中13人参加 受講率87% ・ 管理監督者研修：82人中62人参加、受講率76% ・ 事務職員研修：47人中39人参加、受講率83% ・ 副主任看護師研修：対象者23人中23人参加、受講率100% ・ 看護管理研修Ⅰ：対象者34人中33人参加、受講率97% ・ 看護管理研修Ⅲ：対象者7人中7人参加、受講率100% ・ ハラスメント研修：899人中665人参加、受講率74%

No	病院	年度計画項目	ページ	項 目	R 7 実 績
9	がん	第1－3 患者や家族の視点に 立った医療の提供	P29	セカンドオピニオン件数 の内訳（当院実施・他院 へ紹介）	・当院での実施件数：39件 ・他院への紹介件数：24件（診療情報提供書Ⅱ）
10	がん	第1－3 患者や家族の視点に 立った医療の提供	P31	患者待時間調査結果	別紙3
11	精神 がん	第1－4 人材の確保と育成	P37	医師数の増減	【精神】 R6.4.1：16人 R7.4.1：14人 R8.4.1：13人 【がん】 R6.4.1：73人 R7.4.1：75人 R8.4.1：71人
12	がん	第1－4 人材の確保と育成	P37	後期研修医の診療科別人 数	・脳神経外科：2人 ・呼吸器内科：1人 ・放射線治療科：4人
13	がん	第1－4 人材の確保と育成	P37	後期研修医から引き続き 入職した医師数	6人（R3以降の入職者）
14	精神 がん	第8－2 就労環境の整備	P65	医師の時間外実績	別紙4
15	精神	－	－	各種実績 ・病棟別入院患者数 ・医療機器別活用実績 ・児童関係受入実績	別紙5
16	精神 がん	－	－	医療事故・インシデント	別紙6

がん種別件数【2022年-2024年】

2022年			
部位	宮城県立がんセンター	8拠点病院総計	割合
口腔・口唇	44	196	22.4%
大唾液腺	6	30	20.0%
上咽頭	4	12	33.3%
中咽頭	19	68	27.9%
下咽頭	37	110	33.6%
喉頭	29	81	35.8%
甲状腺	24	143	16.8%
食道	40	447	8.9%
胃	177	1,369	12.9%
大腸	194	1,730	11.2%
肛門・肛門管	1	21	4.8%
肝臓	29	271	10.7%
胆嚢・胆管	13	210	6.2%
膵臓	55	490	11.2%
肺	257	1,486	17.3%
乳房	173	1,509	11.5%
陰・外陰	1	21	4.8%
子宮頸部	60	437	13.7%
子宮体部	49	310	15.8%
卵巣	52	208	25.0%
前立腺	219	1,345	16.3%
精巣	3	44	6.8%
腎	26	284	9.2%
膀胱	54	482	11.2%
腎盂・尿管	16	131	12.2%
悪性リンパ腫	99	524	18.9%
多発性骨髄腫	23	107	21.5%
白血病	35	217	16.1%
他の造血器腫瘍	23	196	11.7%
脳・中枢神経系	14	333	4.2%
骨・軟骨部	17	70	24.3%
皮膚(黒色腫を含む)	3	460	0.7%
その他	26	320	8.1%
総計	1,822	13,662	13.3%

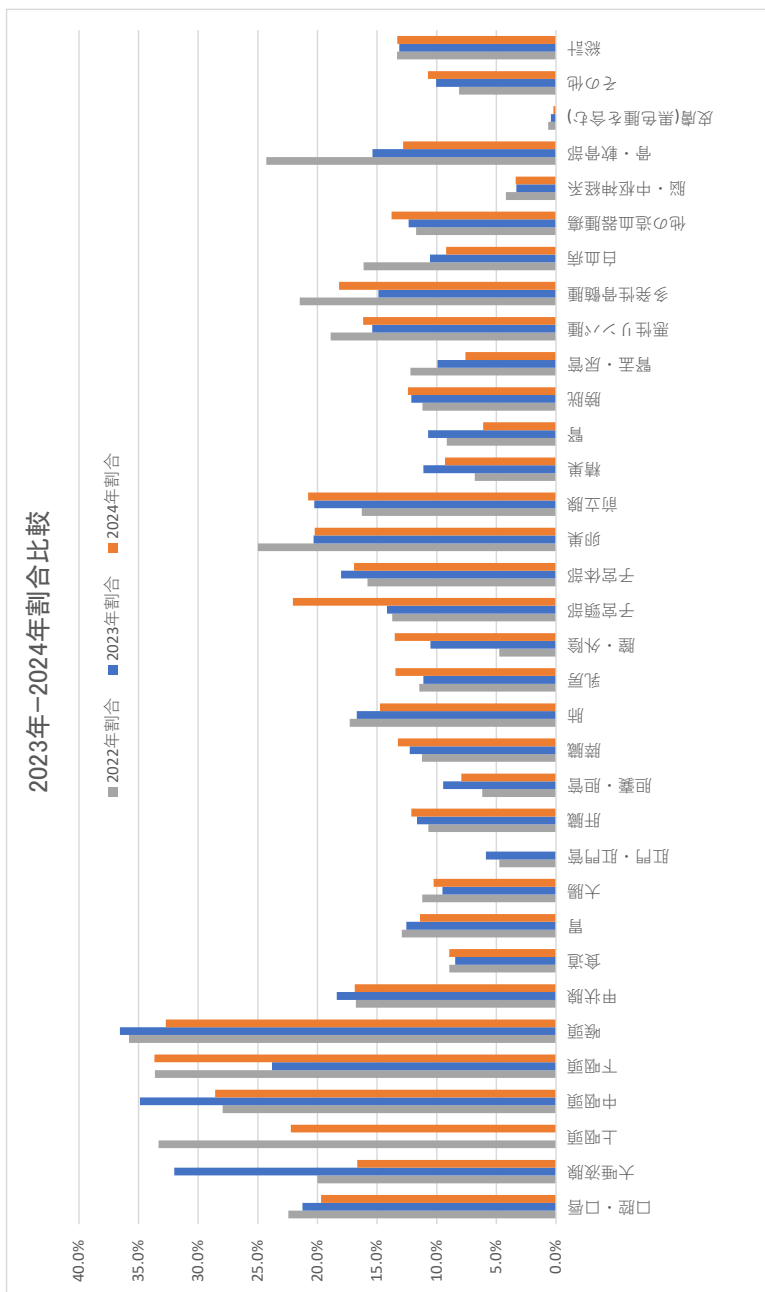
2023年			
部位	宮城県立がんセンター	8拠点病院総計	割合
口腔・口唇	47	221	21.3%
大唾液腺	8	25	32.0%
上咽頭	0	6	0.0%
中咽頭	30	86	34.9%
下咽頭	30	126	23.8%
喉頭	34	93	36.6%
甲状腺	25	136	18.4%
食道	39	462	8.4%
胃	169	1,347	12.5%
大腸	175	1,840	9.5%
肛門・肛門管	1	17	5.9%
肝臓	31	266	11.7%
胆嚢・胆管	21	222	9.5%
膵臓	64	522	12.3%
肺	245	1,467	16.7%
乳房	177	1,593	11.1%
陰・外陰	2	19	10.5%
子宮頸部	56	395	14.2%
子宮体部	58	322	18.0%
卵巣	38	187	20.3%
前立腺	255	1,258	20.3%
精巣	3	27	11.1%
腎	30	280	10.7%
膀胱	50	412	12.1%
腎盂・尿管	14	141	9.9%
悪性リンパ腫	80	519	15.4%
多発性骨髄腫	14	94	14.9%
白血病	26	246	10.6%
他の造血器腫瘍	23	186	12.4%
脳・中枢神経系	11	331	3.3%
骨・軟骨部	12	78	15.4%
皮膚(黒色腫を含む)	2	468	0.4%
その他	35	348	10.1%
総計	1,805	13,740	13.1%

2024年			
部位	宮城県立がんセンター	8拠点病院総計	割合
口腔・口唇	40	203	19.7%
大唾液腺	6	36	16.7%
上咽頭	2	9	22.2%
中咽頭	30	105	28.6%
下咽頭	34	101	33.7%
喉頭	35	107	32.7%
甲状腺	27	160	16.9%
食道	42	469	9.0%
胃	146	1,280	11.4%
大腸	192	1,871	10.3%
肛門・肛門管	0	19	0.0%
肝臓	32	264	12.1%
胆嚢・胆管	18	227	7.9%
膵臓	68	513	13.3%
肺	208	1,409	14.8%
乳房	227	1,686	13.5%
陰・外陰	5	37	13.5%
子宮頸部	86	390	22.1%
子宮体部	54	319	16.9%
卵巣	36	178	20.2%
前立腺	238	1,145	20.8%
精巣	4	43	9.3%
腎	18	295	6.1%
膀胱	62	499	12.4%
腎盂・尿管	11	145	7.6%
悪性リンパ腫	97	600	16.2%
多発性骨髄腫	22	121	18.2%
白血病	21	228	9.2%
他の造血器腫瘍	32	232	13.8%
脳・中枢神経系	11	326	3.4%
骨・軟骨部	10	78	12.8%
皮膚(黒色腫を含む)	1	462	0.2%
その他	42	391	10.7%
総計	1,857	13,948	13.3%

拠点病院中の割合(部位別)【2023年-2024年】

部位	2022年割合	2023年割合	2024年割合
口腔・口唇	22.4%	21.3%	19.7%
大唾液腺	20.0%	32.0%	16.7%
上咽頭	33.3%	0.0%	22.2%
中咽頭	27.9%	34.9%	28.6%
下咽頭	33.6%	23.8%	33.7%
喉頭	35.8%	36.6%	32.7%
甲状腺	16.8%	18.4%	16.9%
食道	8.9%	8.4%	9.0%
胃	12.9%	12.5%	11.4%
大腸	11.2%	9.5%	10.3%
肛門・肛門管	4.8%	5.9%	0.0%
肝臓	10.7%	11.7%	12.1%
胆嚢・胆管	6.2%	9.5%	7.9%
膵臓	11.2%	12.3%	13.3%
肺	17.3%	16.7%	14.8%
乳房	11.5%	11.1%	13.5%
陰・外陰	4.8%	10.5%	13.5%
子宮頸部	13.7%	14.2%	22.1%
子宮体部	15.8%	18.0%	18.9%
卵巣	25.0%	20.3%	20.2%
前立腺	16.3%	20.3%	20.8%
精巣	6.8%	11.1%	9.3%
腎	9.2%	10.7%	6.1%
膀胱	11.2%	12.1%	12.4%
腎盂・尿管	12.2%	9.9%	7.6%
悪性リンパ腫	18.9%	15.4%	16.2%
多発性骨髄腫	21.5%	14.9%	18.2%
白血病	16.1%	10.6%	9.2%
他の造血器腫瘍	11.7%	12.4%	13.8%
脳・中枢神経系	4.2%	3.3%	3.4%
骨・軟骨部	24.3%	15.4%	12.8%
皮膚(黒色腫を含む)	0.7%	0.4%	0.2%
その他	8.1%	10.1%	10.7%
総計	13.3%	13.1%	13.3%

2023年-2024年割合比較



〇がんセンター学会関係資料

【学会発表】

医局	のべ件数	実人数	備考
腫瘍循環器科	1	1	
血液内科	5	2	
腫瘍内科	0	0	
呼吸器内科	12	1	
消化器内科	5	2	
頭頸部内科	6	1	
緩和ケア内科	0	0	
精神腫瘍科	0	0	
呼吸器外科	5	1	
消化器外科	33	7	
臨床検査科	0	0	
歯科	0	0	
乳腺外科	6	2	
整形外科	12	3	
脳神経外科	1	1	レジデント(1)
泌尿器科	4	4	
婦人科	8	3	
形成外科	4	2	
頭頸部外科	9	4	
放射線診断科	0	0	
放射線治療科	0	0	
麻酔科	0	0	
病理診断科	0	0	
小計（医局）	111	34	

研究所	のべ件数	実人数	備考
がん疫学	7	1	
がん幹細胞	0	0	
がん薬物	2	2	
発がん制御	12	9	
小計（医局）	21	12	

看護部・コメディカル	のべ件数	実人数	備考
看護部	7	6	
コメディカル			
臨床検査技術部	7	5	
診療放射線技術部	4	4	
薬剤部	12	5	
栄養管理室	3	3	
診療材料管理室	5	2	
診療録管理室	2	2	
感染対策室	2	2	
相談支援センター	1	1	
宮城県がん登録室	4	3	
小計（医局）	47	33	

合計 179

【学会参加】

医局	のべ件数	実人数	備考
腫瘍循環器科	4	1	
血液内科	4	2	
腫瘍内科	6	3	
呼吸器内科	21	5	レジデント(1)
消化器内科	20	4	
頭頸部内科	5	1	
緩和ケア内科	6	2	
精神腫瘍科	1	1	
呼吸器外科	9	4	
消化器外科	27	9	
臨床検査科	2	1	
歯科	9	1	
乳腺外科	7	2	
整形外科	11	4	
脳神経外科	6	2	レジデント(1)
泌尿器科	14	4	
婦人科	23	6	
形成外科	15	2	
頭頸部外科	26	6	レジデント(1)
放射線診断科	4	3	
放射線治療科	12	5	レジデント(2)
麻酔科	2	2	
病理診断科	1	1	
小計（医局）	235	71	

看護部・コメディカル	のべ件数	実人数	備考
看護部	59	42	
コメディカル			
臨床検査技術部	31	20	
診療放射線技術部	24	17	
薬剤部	20	14	
臨床工学室	1	1	
栄養管理室	9	4	
リハビリ	10	6	
診療材料管理室	4	2	
診療録管理室	2	2	
医療安全管理室	1	1	
感染対策室	2	1	
褥瘡予防対策室	1	1	
緩和ケアセンター	3	1	
相談支援センター	1	1	
地域医療連携室	1	1	
治験管理室	15	5	
宮城県がん登録室	5	4	
事務局	6	5	
小計（医局）	195	128	

合計 466

研究所	のべ件数	実人数	備考
がん疫学	5	1	
発がん制御	12	7	
がん先進	2	2	
がん幹細胞	9	4	
がん薬物	8	2	
小計（医局）	36	16	

(内)医師

5

6

1

5

【寄稿件数】

医局	のべ件数	実人数	備考
腫瘍循環器科	2	1	
血液内科	1	1	
腫瘍内科	0	0	
呼吸器内科	5	3	
消化器内科	2	1	
頭頸部内科	4	1	
緩和ケア内科	0	0	
精神腫瘍科	0	0	
呼吸器外科	1	1	
消化器外科	4	4	
臨床検査科	0	0	
歯科	0	0	
乳腺外科	6	2	
整形外科	2	1	
脳神経外科	2	1	
泌尿器科	7	2	
婦人科	0	0	
形成外科	1	1	
頭頸部外科	7	3	
放射線診断科	0	0	
放射線治療科	0	0	
麻酔科	0	0	
病理診断科	0	0	
小計（医局）	44	22	

連名での寄稿あり

研究所	のべ件数	実人数	備考
がん疫学	19	1	
がん幹細胞			
がん薬物	1	1	
発がん制御	7	2	
小計（医局）	27	4	

連名での寄稿あり

看護部・コメディカル	のべ件数	実人数	備考
診療放射線技術部	1	1	
薬剤部	2	3	
小計（医局）	3	4	

連名での寄稿あり

合計 74

令和 7 年度外来患者待ち時間調査結果（初診・再診別）

宮城県立がんセンター

1 調査日 令和 8 年 2 月 1 6 日（月）から 2 月 2 0 日（金）

2 回収 1 5 2 名

3 調査方法

今年度の調査も、昨年と同様に調査日における外来患者を初診，再診に分類して，以下の項目ごとに関係職員により各々の時刻を把握した。

- ・待ち時間 1 受付表が発行された時刻～最初の診察・検査等開始まで
- ・待ち時間 2 最初の診察・検査等終了～2 番目の診察・検査等開始まで以降繰り返し
- ・会計待ち時間 会計窓口への伝票提出～支払終了まで

4 調査結果

図 1 に初診患者の総待ち時間の割合を示した。1 時間未満は約 6 4 %、1 時間～1 時間 3 0 分未満は約 2 1 %、1 時間 3 0 分～2 時間未満は約 8 %、2 時間～2 時間 3 0 分未満は約 8 %、2 時間 3 0 分～3 時間未満及び 3 時間以上は 0 %となった。

【図 1】初診患者の総待ち時間

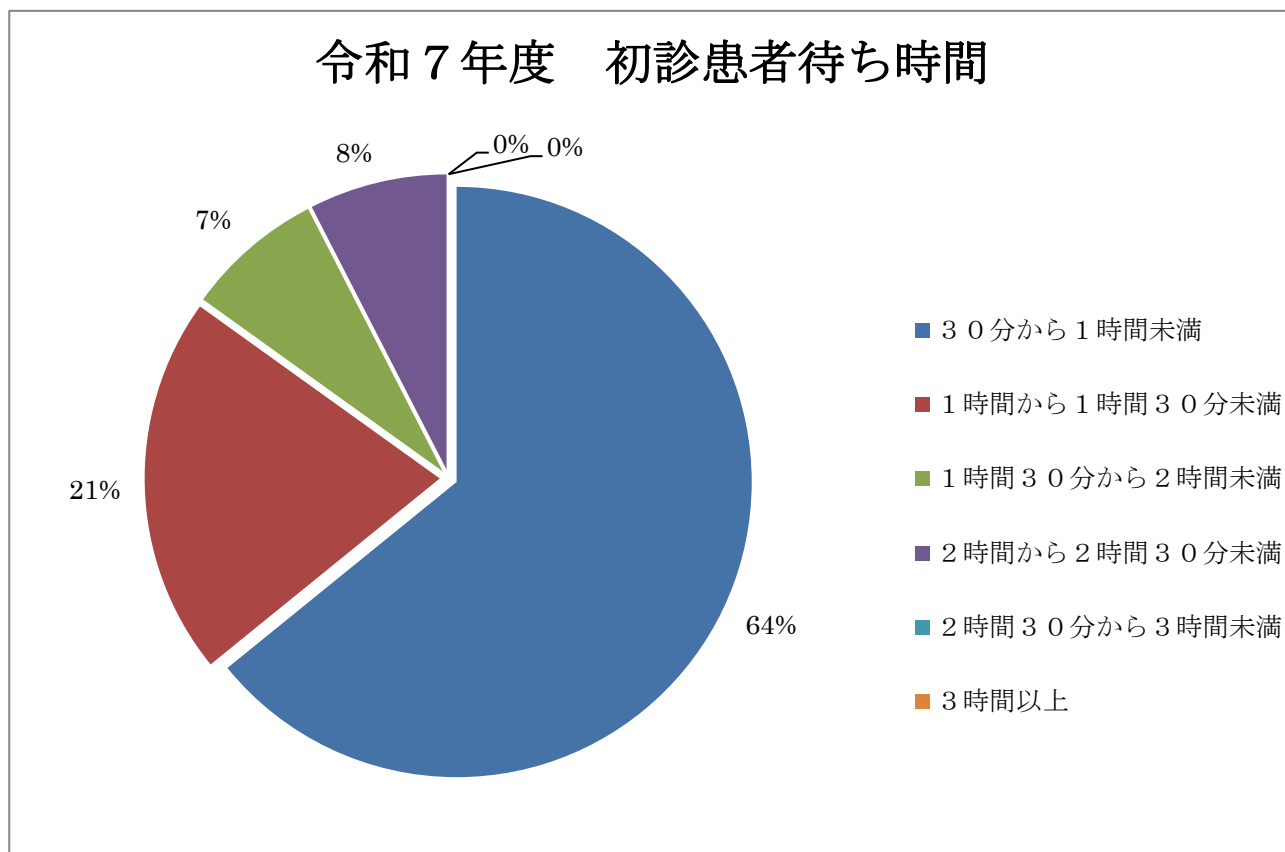
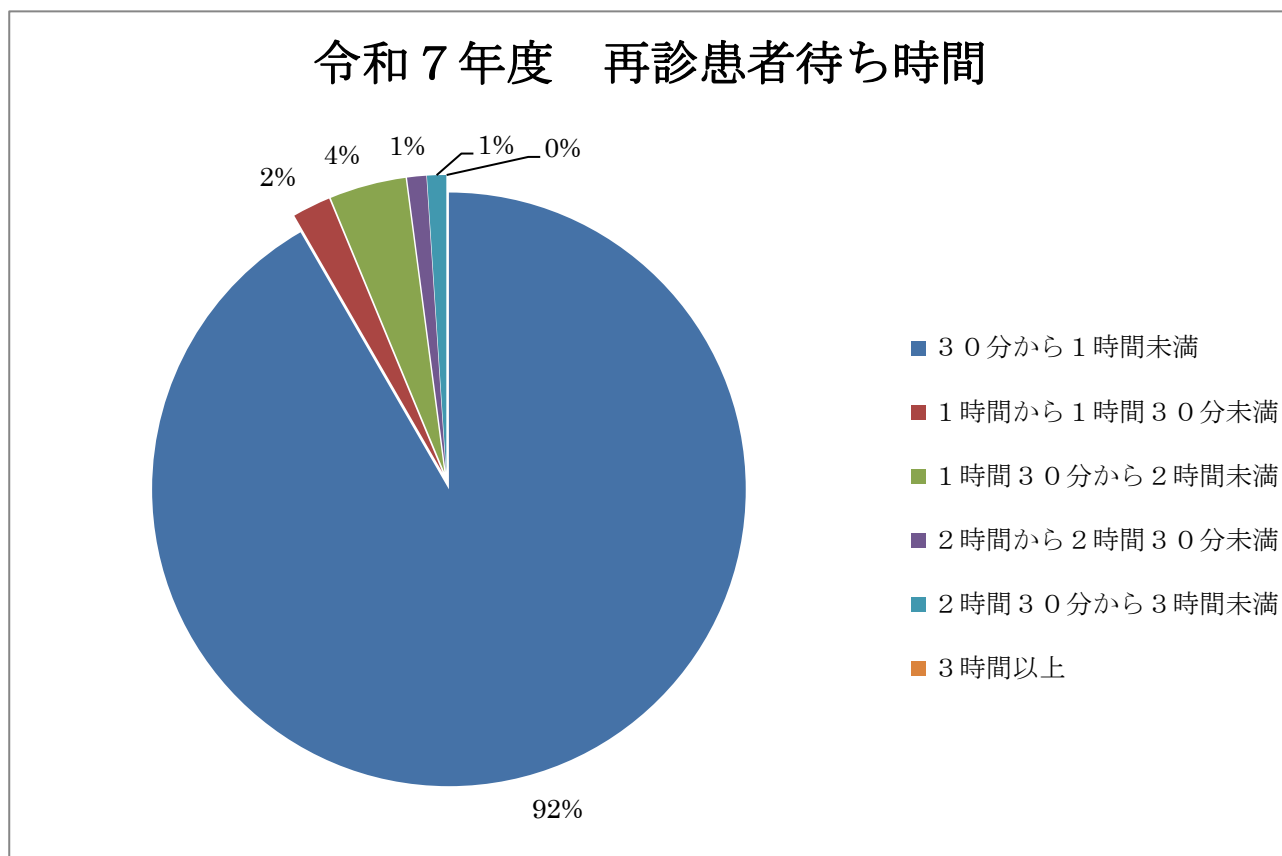


図2に再診患者の総待ち時間の割合を示した。1時間未満は約92%、1時間～1時間30分未満は約2%、1時間30分～2時間未満で約4%、2時間～2時間30分未満で約1%、2時間30分～3時間未満は約1%、3時間以上は0%であった。

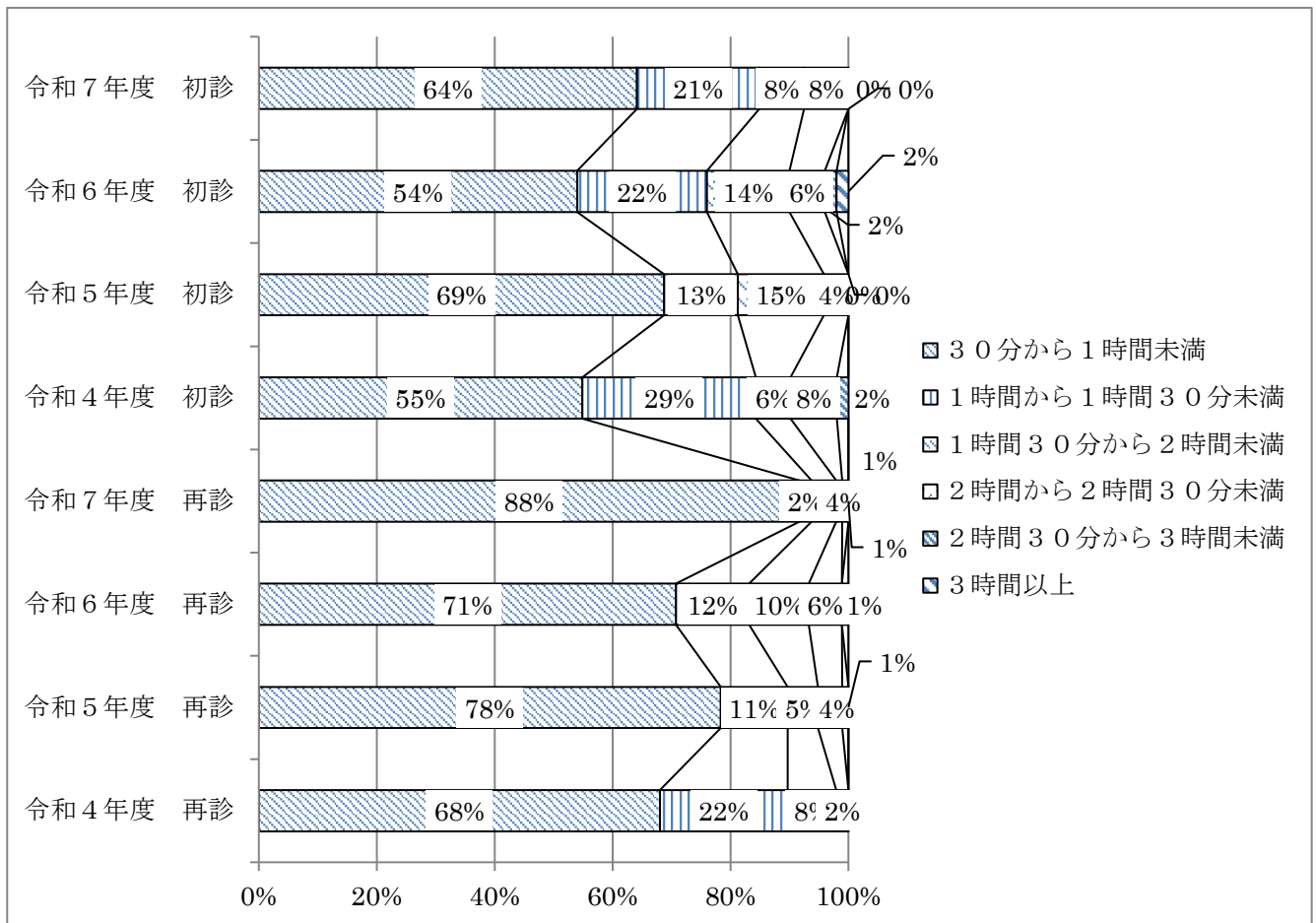
【図2】再診患者の総待ち時間



初診患者と再診患者を比較した結果、ともに1時間未満がボリュームゾーンであることに変わりがなかったが、初診患者に比べて再診患者は2時間30分から3時間未満の時間帯を除き各時間帯で待ち時間が短い結果であった。

再診患者の2時間30分～3時間未満の時間帯約1%については、予約時間より1時間～2時間前に受付を済ませているケースもあり、患者都合による別の要因があったのではないかと考えられる。

【図3】総待ち時間（前回との比較）



前回調査との比較を示した。昨年と比較して初診患者の1時間未満が約10%増加して、1時間～1時間30分未満が約1%、1時間30分から2時間未満が約7%減少したことで、昨年より初診患者の待ち時間は平均で22分程度短縮される結果となった。

また、再診患者でも1時間未満が約17%増加したことで、1時間～1時間30分未満で約10%、1時間30分～2時間未満で約6%、2時間～2時間30分未満で約5%と各時間帯で減少して、再診患者の待ち時間は平均で17分程度短縮されて、全体として平均で18分程度短縮される結果となった。

R7精神医療センター医師時間外勤務時間数(上位10人)

月平均時間外数: 16.5 時間 月80時間超の有無 無 (単位:時間)

No.	診療科名	医師名	R7.4月	R7.5月	R7.6月	R7.7月	R7.8月	R7.9月	R7.10月	R7.11月	R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月	合計
1	精神科	A	37	37	26	34	33	27	34	34	37	39	44	42	424
2	精神科	B	8	36	31	21	19	42	32	28	39	44	29	22	351
3	精神科	C	29	31	28	27	29	24	20	30	28	34	31	31	342
4	精神科	D	11	27	27	21	35	31	23	35	17	37	21	19	304
5	精神科	E	27	30	18	25	30	22	14	24	21	26	10	14	261
6	精神科	F	22	21	28	25	29	16	22	18	21	18	19	19	258
7	精神科	G	30	26	19	25	22	17	25	22	26	12	16	14	254
8	精神科	H	9	4	17	19	20	24	20	19	22	19	25	24	222
9	精神科	I	22	18	7	17	10	10	18	16	31	14	7	8	178
10	精神科	J	21	17	14	9	7	16	15	20	11	11	17	18	176

R6精神医療センター医師時間外勤務時間数(上位10人)

月平均時間外数: 15.0 時間 月80時間超の有無 無 (単位:時間)

No.	診療科名	医師名	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月	合計
1	精神科	A	30	24	25	19	28	26	29	28	35	38	39	32	353
2	精神科	B	16	12	32	22	29	38	31	22	29	24	28	25	308
3	精神科	C	20	24	14	23	24	24	28	28	26	25	31	30	297
4	精神科	D	21	19	22	26	21	28	22	27	23	21	32	20	282
5	精神科	E	25	22	14	14	24	24	16	24	16	43	8	20	250
6	精神科	F	0	1	0	7	17	37	30	19	28	35	26	33	233
7	精神科	G	9	8	16	6	16	16	8	14	24	34	20	32	203
8	精神科	H	27	17	13	28	15	15	15	19	14	8	11	18	200
9	精神科	I	16	20	17	8	24	16	18	12	18	14	10	14	187
10	精神科	J	13	14	13	20	16	16	15	9	18	13	17	15	179

R5精神医療センター医師時間外勤務時間数(上位3人)

月平均時間外数: 14.0 時間 月80時間超の有無 無 (単位:時間)

No.	診療科名	医師名	R5.4月	R5.5月	R5.6月	R5.7月	R5.8月	R5.9月	R5.10月	R5.11月	R5.12月	R6.1月	R6.2月	R6.3月	合計
1	精神科	A	11	22	20	24	43	34	22	32	35	17	19	32	311
2	精神科	B	5	16	16	16	15	27	18	17	25	59	28	19	261
3	精神科	C	28	15	17	21	23	13	32	23	24	24	18	21	259

R4精神医療センター医師時間外勤務時間数(上位3人)

月平均時間外数: 16.5 時間 月80時間超の有無 無 (単位:時間)

No.	診療科名	医師名	R4.4月	R4.5月	R4.6月	R4.7月	R4.8月	R4.9月	R4.10月	R4.11月	R4.12月	R5.1月	R5.2月	R5.3月	合計
1	精神科	A	21	25	35	42	35	34	47	26	47	45	35	29	421
2	精神科	B	36	40	33	41	25	28	20	31	21	33	33	24	365
3	精神科	C	32	36	38	24	30	17	22	23	26	37	29	25	339

R7がんセンター医師時間外勤務時間数(上位10人)

月平均時間外数:		22.5 時間		月80時間超の有無 有															(単位:時間)	
No.	診療科名	医師名	R7.4月	R7.5月	R7.6月	R7.7月	R7.8月	R7.9月	R7.10月	R7.11月	R7.12月	R8.1月	R8.2月	R8.3月	合計					
1	血液内科	A	60	62	65	75	71	71	75	64	70	74	60	63	810					
2	その他	B	60	59	72	61	61	69	70	67	67	59	60	75	780					
3	婦人科	C	60	60	51	64	64	59	70	62	67	69	63	66	755					
4	整形外科	D	40	43	54	58	58	56	64	62	66	58	66	41	666					
5	緩和ケア内科	E	54	61	37	46	61	49	42	44	47	57	52	56	606					
6	泌尿器科	F	55	51	55	47	45	48	40	45	48	50	46	56	586					
7	乳腺外科	G	31	23	24	39	36	33	16	54	88	71	49	61	525					
8	呼吸器外科	H	39	38	52	54	42	33	45	35	48	43	52	21	502					
9	呼吸器外科	I	42	32	37	46	51	42	46	45	48	50	25	30	494					
10	頭頸部外科	J	37	45	38	45	36	32	38	30	55	46	37	50	489					

※医師が1人のみで籍している診療科については、個人が特定されないよう「その他」と表記している。

R6がんセンター医師時間外勤務時間数(上位10人)

月平均時間外数:		24.3 時間		月80時間超の有無 無												(単位:時間)	
No.	診療科名	医師名	R6.4月	R6.5月	R6.6月	R6.7月	R6.8月	R6.9月	R6.10月	R6.11月	R6.12月	R7.1月	R7.2月	R7.3月	合計		
1	緩和ケア内科	A	59	76	65	61	46	49	73	64	78	48	56	69	744		
2	血液内科	B	63	55	63	68	59	75	57	60	58	62	51	54	725		
3	婦人科	C	45	47	50	44	54	53	57	57	69	61	58	59	654		
4	その他	D	59	51	54	58	50	52	57	56	60	39	28	59	623		
5	消化器外科	E	48	38	48	42	37	52	61	61	28	54	64	74	607		
6	泌尿器科	F	42	50	53	51	59	49	44	51	49	45	48	47	588		
7	呼吸器外科	G	53	34	49	50	37	47	60	40	61	58	42	55	586		
8	乳腺外科	H	45	58	44	39	45	45	57	57	47	57	40	46	580		
9	緩和ケア内科	I	33	50	43	56	41	54	51	36	50	51	57	47	569		
10	呼吸器外科	J	40	40	59	31	55	43	45	36	50	54	52	56	561		

※医師が1人のみで籍している診療科については、個人が特定されないよう「その他」と表記している。

R5がんセンター医師時間外勤務時間数(上位3人)

月平均時間外数:		21.4 時間		月80時間超の有無 無														(単位:時間)	
No.	診療科名	医師名	R5.4月	R5.5月	R5.6月	R5.7月	R5.8月	R5.9月	R5.10月	R5.11月	R5.12月	R6.1月	R6.2月	R6.3月	合計				
1	血液内科	A	48	62	51	57	67	64	60	65	62	60	63	58	717				
2	その他	B	53	50	67	53	56	56	59	47	56	46	43	59	645				
3	頭頸部外科	C	42	47	52	57	45	70	61	55	39	39	38	42	587				

※医師が1人のみで籍している診療科については、個人が特定されないよう「その他」と表記している。

R4がんセンター医師時間外勤務時間数(上位3人)

月平均時間外数:		21.8 時間		月80時間超の有無 有												(単位:時間)	
No.	診療科名	医師名	R4.4月	R4.5月	R4.6月	R4.7月	R4.8月	R4.9月	R4.10月	R4.11月	R4.12月	R5.1月	R5.2月	R5.3月	合計		
1	消化器外科	A	83	78	79	80	79	79	77	80	80	78	78	81	952		
2	血液内科	B	60	44	57	44	51	58	60	45	56	74	33	53	635		
3	頭頸部外科	C	52	40	59	65	70	44	40	44	31	39	49	39	572		

各種実績集計(精神医療センター関係)

○病棟別入院患者数

	R3	R4	R5	R6	R7
一般病棟延入院患者数	31,167	25,072	23,860	24,857	22,903
急性期病棟延入院患者数	30,700	31,356	32,649	29,826	29,708
児童・思春期病棟延入院患者数	3,462	2,251	3,196	3,874	3,781

○医療機器別活用実績

	R3	R4	R5	R6	R7
CT件数			105	177	218
脳波件数	28	19	13	27	17
入院	18	11	10	19	12
外来	10	8	3	8	5
エコー	0	1	1	0	0
尿検査	9,870	7,729	7,092	6,920	6,690
電解質分析装置	415	299	324	398	425

※CTについては、R5.6月から稼働

○児童関係受入実績

	R3	R4	R5	R6	R7
強度行動障害受入件数					
一時保護委託等の受入れ件数	1	0	0	1	6

※強度行動障害の受け入れ件数については「強度行動障害」という名称が医学的診断名ではないため、カルテや院内統計上件数を把握していない。

令和 7 年度 医療事故・インシデントについて

宮城県立病院機構が運営する各県立病院における令和 7 年度の医療事故・インシデントの状況について、下記のとおり公表します。

令和 8 年 6 月 1 5 日

地方独立行政法人宮城県立病院機構

理事長 山 田 秀 和

1 レベル別事象件数

レベル	精神医療センター	がんセンター	合計
5	1 件	0 件	1 件
4	0 件	0 件	0 件
3	44 件	134 件	178 件
(3b)	7 件	6 件	13 件)
(3a)	37 件	128 件	165 件)
2	107 件	43 件	150 件
1	267 件	1,183 件	1,450 件
0	76 件	87 件	163 件
合計	495 件	1,447 件	1,942 件

※令和 7 年度は、公表すべき医療過誤による事故等はありませんでした。

2 事象別件数（主な医療事故・インシデントの種類）

精神医療センター	がんセンター
転倒・転落（94 件）	オーダー・指示・情報伝達（403 件）
患者の暴言・暴力（72 件）	転倒・転落（248 件）
与薬・服薬関係（72 件）	ドレーン・チューブ関係（154 件）

3 令和7年度に実施した主な防止対策

○精神医療センター

	種 類	対 策
1	転倒・転落	・特に転倒報告が集中した場所の安全確認を行い、転倒につながる危険箇所について環境改善の提案を行った。 ・転倒・転落アセスメントスコアシートでの評価実施を徹底し、危険度の高い患者には転倒転落リスクに着目した看護計画を立案し、転倒転落予防に努めた。 ・転倒・転落防止を呼び掛けるポスターを作成、掲示し注意喚起を行った。 ・当院患者の特性上、危険行動の回避が困難な転倒ハイリスクな患者に対し、危険行動の予防、危険行動の検出、個別対策の強化をすることで、事故が発生しても患者への影響度を最小限に抑えるためにあらゆる角度から対策を行った。
2	暴言・暴力	・暴力行為や職員に対する誹謗中傷を禁止する項目を掲示物に明示して病院としての方針を示した。 ・非常警報装置訓練を実施し、暴力行為発生などの非常事態発生時に即行動、実践できるように備えた。 ・非常警報装置が設置されていない部署（地域支援科・多目的室）に緊急ブザーを設置し、非常時援護に駆け付けられる体制を確保した。 ・包括的暴力防止プログラムトレーナーが、暴言暴力に関する事故カンファレンスに参加し、事故発生の分析や対策について助言し防止に努めた。
3	与薬・服薬関係	・転任者・新任者オリエンテーション時に与薬方法についてシミュレーションを行い、適切な与薬手順について確認した。 ・全病棟の与薬ラウンドに同行し、与薬マニュアルが遵守されているか、患者毎の処方管理が適切に行われているか等の確認・評価し結果を各病棟へフィードバックした。また、与薬時のダブルチェック方法について、一人一人がそれぞれに確認する縦列確認の徹底と指差し、声出し確認と患者からの名前・名乗りを徹底するように周知を行った。
4	自傷行為・自殺企図・未遂	・身体拘束中断時は、拘束帯を病室内に持ち込まないなど安全対策を講じた。 ・医療安全予防ラウンドを行い、縊首行為のリスクの高い箇所を抽出し紐状のものがかからない構造になるように修繕を行った。 ・カミソリ等の危険物を貸し出す際は、管理簿に記載するとともに、返却時の確認を徹底し、安全管理の徹底に努めた。
5	療養生活の援助	・日常の病室環境点検チェックポイントを改訂し、危険予測の観点から新たな危険箇所は無いかな普段から意識して療養環境を整えるように助言を行った。 ・建物の構造上、離院につながる脆弱な部分がないか窓設備点検を実施し、不具合箇所を修繕、また強化が必要な箇所について設備強化策を講じた。

〇がんセンター

	種 類	対 策
1	オーダー・指示・情報 伝達	・抗癌剤投与の際には、必ず薬剤師が患者の体表面積と投与量の確認をしている。血液内科のレジメン内容を確認していたところ、投与量の入力の違いを発見した。主治医へ報告して修正してもらい、患者には正しい抗癌剤の量で投与できた。 ・大腸ポリープ切除術患者。脳梗塞の既往があり、強い抗凝固剤を内服していた。治療のために弱い抗凝固剤に置換することを伝えてバイアスピリンを処方した。患者が調剤薬局へ行かずに手持ちの抗凝固剤を内服していたことを入院時に看護師が発見し、強い抗凝固剤を内服したままでの治療は延期できた。
2	転倒・転落	・入院時に、65 歳以上又は転倒既往のある患者はアセスメントスコアシートで評価している。 ・転倒によるインシデントレポート報告書を確認し、病棟ラウンドして状況確認した。点滴スタンドを使用しつつのトイレの段差での転倒報告については、段差の改善について総務の施設・設備担当と検討している。
3	ドレーン・チューブ関係	・状態悪化により 24 時間点滴が必要な患者について、点滴ラインの自己抜去防止のため、ラインが袖から見えないような工夫、計画的な患者の見守りを実施した。 ・せん妄患者については、医師を交えて多職種でカンファレンスを実施し、治療方針の確認や患者の状態について情報共有して安全に努めた。 ・術後に必要で留置するデバイスに対し、自己抜去防止策に取り組んだ。
4	与薬・服薬関係	・患者が内服薬について理解できているか、薬剤師が入院時に面談して確認し、情報カンファレンス等で共有している。 ・「内服アセスメントスコア」で評価し、自己管理が難しい患者には1 回毎の配薬や1 日毎の配薬を行い、退院時には退院に向けての説明を行うなど、段階に分けて看護師が関わることにより、帰宅後を含めての患者の内服間違い防止の工夫をしている。 ・内服薬を空ヒートで確認することにより、患者の内服間違い防止に努めた。
5	調剤・製剤	・薬剤部で調剤する際には指差し呼称などで薬品名・用量について指示通りの調剤になっているか確認、病棟でも看護師がダブルチェックで確認し、多職種で患者への薬剤誤投与防止に努めている。 ・点滴を薬剤部で払い出しする際に指示箋で用量を確認したが、病棟で看護師が投与前のダブルチェックで誤りを発見し、患者への誤投与には至らなかった。 ・点滴ボトルの表示が酷似している薬品について、院内にお知らせを配布し、注意喚起した。